

ふたかみ文化センター 楽しみ方・遊び方・学び方

◆二上山博物館の楽しみ方

古代の旋律を奏でてみよう

ふたかみ文化センターの中心的な施設の二上山博物館は、日本で初めての旧石器文化をおもに紹介する博物館として、全国から注目を集めています。その常設展示のテーマとして「二上山と三つの石」があげられているのですが、その中でも旧石器時代に利用されたサヌカイトという岩石はきわめて重要なものです。石器として古代人に用いられたサヌカイトを楽器にしてみたら、という発想でつくられた石琴は、私たちが知っている岩石の使い道とは違った面白さがうかがえます。

サヌカイトは安山岩の一種で、二

上山の火山活動によって生まれた岩石です。香川県の讃岐という昔の名前から付けられたサヌカイトは、ガラス質の岩石で割ってみると、まるでとがとがったようになることから石器として、二万数千年前から弥生時代まで用いられていました。

このサヌカイトどうしをたたくと、チンチンとかカンカンとか金属をたたいた時のような音がします。したがって、この石を紐などでつるしてから、たたいてみると、とても美しく余韻のある音がします。そのため、昔からチンチン石とかカンカン石、カネ石などと呼ばれて、良い音がす



古代の石遺物はひんやりとした肌触り、やっぱり本物は違う。

る石であることは知られていました。このサヌカイトを木の上に並べた、木琴のような形の石琴が博物館の入り口の所に二列並んでいます。もちろん形だけでなく、音階も合わせてあり、これできれいな音楽を演奏することが出来ます。三〇センチ位の大きい石が低音で、カンカンからキンキンと小さくなるにしたがって音が高くなります。

このサヌカイトの石琴は、最近二一ククな打楽器として創作音楽などに取り入れられてきています。その澄んだような音色が、大地に染み入るようだと、また古代人の歌が聞こえるようだと評する人もいます。サヌカイトが古代に楽器として用いられたかどうかは定かではありませんが、中国には石を使った楽器があっ



サヌカイトの石琴からは、懐かしい原始の調べが聞こえてきそう。

たそうですから、もしかしたら古代人たちは、この音色を楽しんでいたかも知れません。博物館には石琴とその見本があり

ますから、実際にたたいてみて、その音色を確かめてみてはいかがでしょう。そしてテープから流れる音楽に古代のロマンを感じてみては。

◆二上博物館の遊び方

二上山Q&Aで宝さがしゲーム

博物館の中央に大きく口を開けた二本のかしの大木が並んで立っています。これが子どもたちに遊びながら、博物館の展示品を理解して、二上山に親しんでいたかどうかとする二上山Q&Aのプレイスペースです。大きな口の所には画面があり、下にあるボタンを押すと、二上山の宝物を探すアドベンチャーゲームが展



Q&Aのアドベンチャーゲームは遊び感覚で知識が身につきます。

開されます。モグちゃんとモグ子ちゃんの二匹のキャラクターとともに、二上山へと登って五匹の魔物と対決し、魔物が次々と繰り出してくるクイズに答えて、最後には宝物を見つけるといふストーリーです。

クイズには二上山や香芝市にちなんだ五十の問題が入っていて、これがランダムに十問出されます。つぎつぎと問題をクリアするのは、な

かなか難しいのですが、やりとげて最後に二上山の妖精たちが現れると、なんともうれしいものです。それに認定書がもらえるというのも、感激ですよ。ゲーム感覚で二上山のことを覚えて、自然や歴史にくわしくなるのも楽しいもの。あなたも一度チャレンジしてみてください。



上手く宝探しができたら、認定証がもらえるよ。

◆二上山博物館の学び方 タイムトンネルの年表コーナー

二上山博物館への入り口は、ちょうど過去へと向かうタイムトンネルのようなものです。この壁面に描かれた年表は、博物館の展示品を理解するうえにも、とても大事なものです。ただぼんやりと見ているだけでは、おもしろさが分かりません。ここではぜひとも学芸員の説明を聞いてみたいものです。

年表は地球という大きなスケールの歴史から、しだいに人類、日本、そして香芝市というように時間の流れが一目で分かるように配されています。自然史（これが二上山の生成や火山活動などを明示しています）、人類史（人類が誕生して、世界の石器時代を表しています）、二上山石器時代史（日本、二上山の石器の歴史



タイムトンネルのような年表コーナーでは、分かりやすい解説が。

が見られます）、そしてかしば史（香芝市内にある古墳成立から香芝市の誕生まで）という流れは、そのまま地球や人間の歴史を表しています。ここで大事なことは、私たちが理解しやすい江戸時代、いや平安時代でさえ、自然史や人類史の年表に置いてみると、ほとんど目にする事ができないほどの部分になります。今、私たちが生きている時間の流れは、地球や人類の歴史に比べるといかに短いものか、おどろいてしまいます。新ためて実感として、もっと自然や郷土を大事にしたいと考えさせられます。ジオラマのリアルな表現に目を奪われがちですが、一見地味な年表にもこうした面白さがひそんでいるのです。



ジオラマのリアルさには目をうばわれてしまいます。



もっと香芝のことを知りたい、二上山の歴史を知りたい、そんな気持ちがいっぱい。